

個人サンプラーによる作業環境管理に係る主な論点（案）

1. A・B 測定と個人サンプラーの位置づけについて
 - ① 個人サンプラーによる測定は作業環境測定とみなしうるか
 - ② A・B 測定が担ってきた役割と個人サンプラーに期待される役割について
 - ③ 個人サンプラーによる測定は、A・B 測定の補完的役割とすべきか、A・B 測定と二者択一とすべきか
 - ④ 二者択一の場合、一定の条件下で限定的に導入すべきか、条件を附さず A・B 測定と自由に選択可能とすべきか
 - ⑤ A・B 測定の結果と個人サンプラーによる測定の結果が異なる場合、当該作業場をどのように評価するべきか

2. 個人サンプラーによる測定・評価方法について
 - ① 評価基準と管理濃度の関係はどうあるべきか
 - ② 測定・評価基準の具体的な内容について
（8時間測定が原則か、測定対象者の選定方法、管理区分のあり方、個々の現場への柔軟性のあり方など）
 - ③ 天井値など短時間ばく露限界値がある物質はどう扱うべきか
 - ④ 測定結果を踏まえた設備、作業等の環境改善はどう実施されるべきか

3. 個人サンプラーによる測定を行う者の要件について
 - ① 測定のデザイン、実地での作業観察を含め、測定に必要な能力・知識は何か
 - ② 上記と作業環境測定士、労働衛生コンサルタント（労働衛生工学）、衛生工学衛生管理者、インダストリアル・ハイジニスト（CIH）、日測協認定オキュペイショナル・ハイジニストとの関係について

4. その他